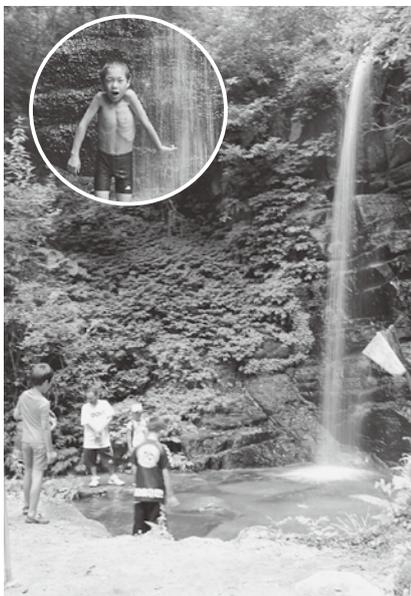


全国2位の滝で涼を楽しむ

伯太町上小竹の鷹入りの滝周辺で8月13日、鷹入りの滝祭りが開催されました。このお祭りは、地元住民らでつくる実行委員が帰省客などに楽しんでもらおうと毎年この日に開いています。

鷹入りの滝は、本滝、二の滝、三の滝の三段からなり、昨年環境省の名水百選選抜総選挙の秘境部門の全国2位に選出されるなど現在注目の滝。今年は3年ぶりに最上段にある本滝周辺の立入禁止が解除となり、多くの人々が本滝まで登りました。本滝周辺では地元住民から抹茶やようかんが振る舞われ、訪れた人は落差10メートルの滝をしばし眺める様子が見られました。また、滝入口の広場ではそうめん流しやニジマスのつかみ取りなどさまざまなイベントが催され、多くの人でにぎわいました。



本滝で水浴びをした島田小の須山琉輝くんは「水の音を聞いたり、木漏れ日の林の中を歩いたり、涼しかった。(浴びた) 滝の水は冷たくて寒かった」とうれしそうに話していました。



まちの話題や出来事をご紹介します



荒島駅近くの島田一嗣さん（荒島町）の畑では、小玉スイカが宙づりで栽培されています。頭上にスイカ…なんとも不思議な光景です。

今月の一枚



熱戦！盆野球 16年ぶりに神塚自治会優勝

「盆野球」として親しまれる安来市自治会親善野球大会が8月13日から3日間、あらえっさスタジアムなど市内7会場で開催されました。

大会は自治会対抗のトーナメント戦で実施。64回目となる今年は86の自治会が参加し、市民やお盆に実家に帰省した自治会出身者らが白球を追い掛け、はつらつとしたプレーを見せました。

決勝では昨年優勝チームの植田町を神塚自治会が破り16年ぶりに優勝の栄誉を飾りました。

【平成29年度安来市自治会親善野球大会】

優勝…神塚自治会 2位…植田町
3位…飯生町、折坂自治会

▶試合の様子
▼優勝した神塚チーム





学ぼう！安来で作られているもの

ダンボールの製造販売を手掛ける日段株式会社安来工場（佐久保町）で8月21日、やすぎ産業体験2017が開催されました。

この催しは、子どもたちに安来の産業について学んでもらおうと、産業サポートネットやすぎが毎年開いています。子どもたちは工場内に入ると、普段は見ることのない内部に興味津々。型の打ち抜き、印刷、組立て、出荷までの作業をメモをとりながら真剣に見学しました。終了後は島田のブドウ園で収穫を体験し、安来の産業へ理解を深めていました。

立体切り絵の世界を体験

展示中の立体切り絵に触れてみよう、8月11日に加納美術館で体験会が開催されました。講師は、同美術館に作品を展示中で、一枚の紙から立体的な「白の宇宙」を創り出す作家 Souma さん。説明を受けながら参加者は、10cm四方の中性紙を使ってデザインナイフで切り込みを入れていきます。その後は楊枝などを使いながら立体的に。この日は花火をモチーフにした作品を制作しました。

出雲市から親子で参加した堀川花音さん（6年生）は「立体的に丸めるのが難しかったです。展示作品を見たけど、細くきれいに切ってた作品はすごいと思いました」と話してくれました。



◀ Soumaさん（左）にアドバイスを受ける参加者。

不思議な化学反応 藍染ハンカチコンテスト

「夏休み 藍染ハンカチコンテスト」の展示が、広瀬紺センターであり、小・中学生の作品を中心に46作品が展示されました。このコンテストは、日本伝統の藍染めに親しんでもらおうと毎年、夏休み期間中に企画されています。

自然の生きた染料を使った作品は、それぞれ表情の違うものばかり。藍染め体験者の個性が表れています。主催した同センターの永田佳子伝習所長は「市外や県外からたくさんの応募がありました。力作が多く、どの作品も迫力がありますね」と講評していました。



安来三中男子バレー部全国へ

8月23日開催の全日本中学校バレーボール選手権大会（宮崎県）に出場する安来三中男子バレー部が8月10日、近藤市長に出場を報告しました。

三中は8月に松江市で開かれた中国大会3位決定戦で金光学園（岡山）を下して4年ぶりに全国大会出場を決めました。

キャプテンの松浦雅樹くんは「粘り強いバレーがチームの強み。支えてくださった親や地域の人などに感謝しながらプレーしたい」と抱負を語りました。